

聴覚障害児の教育課程

－ オンライン遠隔同期開講と対面開講での比較 －

特別支援教育コース 加藤哲則

1 授業の基本情報

対象授業の科目区分：特別支援教育専門科目

科目名：聴覚障害児の教育課程

担当教員名：加藤哲則

登録学生数：23名

授業概要：特別支援学校(聴覚障害)の教育課程について理解し、聴覚障害児の学ぶ教育課程の現状から今後の聴覚障害児教育における教育課程の在り方について議論することを通して、特別支援学校のカリキュラムマネジメントを進める力を身につけることをねらいとした。

2 授業研究・授業評価の内容

昨年度は COVID-19 感染拡大防止のために、遠隔同期型授業で Zoom を活用した開講とした。新学習指導要領に示された主体的・対話的な深い学びの実現に向けた授業を、受講生がオンラインでも体験できるように、Google スプレッド

シートを活用したり、Zoom のブレイクアウトルームを活用したり、授業形態の工夫を試みた。

今年度は講義室での対面開講となり、昨年度実施した Zoom を活用する必要はなくなった。学生の主体的・対話的な深い学びの実現に向けた授業形態として、昨年度の授業で活用した PC やタブレット端末と Google スプレッドシートを活用して、同様の活動を試みた。特に調べ学習場面ではスプレッドシートを講義室のスクリーンに提示して、全体を把握しやすくするなど配慮を行った。その結果、個人端末と共同編集可能な画面を確認しやすくなったとの感想を得た。

また遠隔同期開講の昨年度と対面開講での DP 対応評価でも大きな差が認められなかったことから、開講形態の違いによる差はないと考えられた。

3. 知識・理解：教育と教職に関する確かな知識と、得意とする分野の専門的知識を修得している。

詳細

Insights

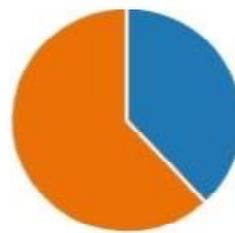
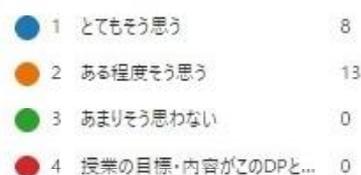


図1 令和3年度オンライン開講時の知識・理解の評価

3. 知識・理解：教育と教職に関する確かな知識と、得意とする分野の専門的知識を修得している。

詳細

インサイト

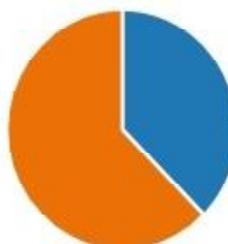
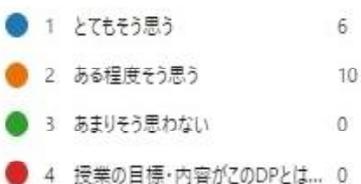


図2 令和4年度対面開講時の知識・理解の評価

5. 思考・判断・表現：教育現場で生じているさまざまな現代的諸課題について，専門的な知見をもとに，その対応方策を理論に基づいて総合的に考え，その過程や結果を適切に表現することができる。

詳細

Insights

● 1 とてもそう思う	10
● 2 ある程度そう思う	11
● 3 あまりそう思わない	0
● 4 授業の目標・内容がこのDPと...	0

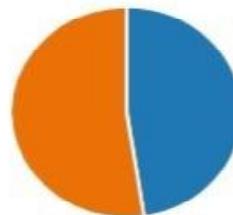


図3 令和3年度オンライン時の思考・判断・表現評価

5. 思考・判断・表現：教育現場で生じているさまざまな現代的諸課題について，専門的な知見をもとに，その対応方策を理論に基づいて総合的に考え，その過程や結果を適切に表現することができる。

詳細

インサイト

● 1 とてもそう思う	5
● 2 ある程度そう思う	11
● 3 あまりそう思わない	0
● 4 授業の目標・内容がこのDPとは...	0



図4 令和4年度対面開講時の思考・判断・表現評価